

## I 私学振興共済事業団助成プロジェクト

- ① 進市役所および日進市社会福祉協議会の協力の下に、2012年2月に日進市民2400人を対象に福祉コミュニティ市民意識調査を行った。  
担当：村田尚生（総合政策准教授）
- ② 進市における市民の地域行政参加の示唆をえるために、河村名古屋市長下の地域評議会の検証を行った。  
担当：森正（総合政策学部教授）
- ③ イタリアの生涯学習を検討し、日本への手ごかりを得た。  
担当：新海英行（名古屋柳城短期大学学長）
- ④ 近年のコミュニティ論の動向をまとめ、日進市のコミュニティづくりの方向性と課題を把握した。  
担当：北住炯一（総合政策学部教授）
- ⑤ 日進市の市民参加と財政健全化自治体の取り組みにおける市民参加の比較のため長野県王滝村の調査を行った。  
担当：森下英治（総合政策学部教授）

## II コミュニティ論研究会

### 第1回 2011年6月29日

報告者：岩田和男（総合政策学部教授）

テーマ：「核家族」の表象あるいは兆候を米・伊・日の文化表象に拾う

概要：1950年代イタリア系移民アメリカ人家族の情景を描いた「マーティン」という映画を題材に、核家族化を受け入れる人々の寂しさ、最終的には「個人」というバラバラの存在になる過渡期としての核家族のあり様が紹介された。家族とは何のために存在してきたか、最小単位のコミュニティである家族の役割を改めて考えさせられることとなった

### 第2回 2011年7月20日

報告者：堅田堅一（法学部教授）

テーマ：ロールズとサンデルのコミュニティ論

概要：リベラリズムのロールズとコミュニタリアニズムのサンデル（白熱教室で有名）の正義やコミュニティに対する考え方の違いが紹介された。サンデルは、個人がコミュニティに貢献することによりア

イデンティティを獲得していることを指摘するが、コミュニティに貢献することが前提となるのは危険な側面もある。一方、ロールズのように他人の自由を阻害しないかぎり自由であるという考えも限界がある。ロールズとサンデルの考えには共通点も多く、これからの社会ではこれらの融合が必要となるというまとめがあった。

### 第3回 2011年10月12日

研究報告

報告者：中嶋佐恵子（姫路獨協大学准教授）

テーマ：イタリアの成人教育—歴史・動向・課題

概要：イタリアの成人教育の北部・中部・南部の特徴的な発展過程について論じ、今日的課題としては若年層の失業、ワーキングプアの問題解決に対して、成人教育のもつ役割を示唆された。

イタリア都市視察報告：イタリア市民自治と絆

報告者：岩田和男（総合政策学部教授）

北住炯一（総合政策学部教授）

杉山知子（総合政策学部准教授）

概要：杉山氏は視察の概要および研究所で海外視察を実施することの意義を論じ、岩田氏は市民自治と家族のあり方についてモダニズムの視点から考察を加え、北住氏は国家、州、コムーネ（市町村）の関係からみた自治のあり方を報告した。

### 第4回 2011年11月25日

報告者：アウグスト・グリロ

（サント・ステファノ・ティチーノ市長）

テーマ：Living and Working in Italy Today

概要：ベルルスコーニ前首相の統治と退陣背景、イタリの経済危機と財政状況、そしてコミュニティなど多岐にわたる報告がなされた。何ら実績のないベルルスコーニはイタリア人の共感をえて長年首相の座を維持したこと、イタリアの国債状況はドイツ並みで必ずしも突出していないこと、イタリア経済は衣食住関連と機械分野でなお世界的先進性を有することなどが明らかにされた。

## 第5回 2012年2月22日

報告者: 竹内信仁 (愛知学院大学総合政策学部教授)

テーマ: コミュニティと地方財政

概要: 1400以上の市町村を減らした市町村合併の実態を、財政力、経常収支比率、人件費、職員数など多方面から解析し、市町村合併の効果・帰結を明らかにした。討論では、市町村行政水準の評価基準、分析手法、道州制との関連、住民サービス、市町村内格差、市町村合併の目的・意義・限度などが論じられた。市町村合併を捉え返し、合併後の地域自治のあり方を考える貴重な機会となった。

## Ⅲ イタリア都市視察

2011年9月7日～9日にイタリアのサントステファノティチーノ市、ミラノ県、ボローニア市、人民の家、フィレンツェ大学を視察した。

## Ⅳ シンポジウム

2011年9月19日にシンポジウムを開催した。

主催: 愛知学院大学総合政策学会

共催: 愛知学院大学政策科学研究所

テーマ: 見えない世界、見えない政治

—9.11から10年、3.11から半年

## Ⅴ 所員会議

第1回 2011年5月25日

第2回 2011年11月30日

## Ⅵ 運営委員会

第1回 2011年4月27日

第2回 2011年5月18日

第3回 2011年9月28日

第4回 2011年11月16日